

# 第10回 作文

## 原稿用紙の使い方

- ① 題名は一行目に、上を二〜三ますくらい空けて書きます。
- ② 名前や学年、組を書くときは、二行目の下のほうに書きます。
- ③ 文章の書き出しや段落の初めは、一ます空けて書きます。

〔例1〕

け	の	り	来	で			
ん	た	た	は	す	ぼ		
命	め	い	こ	。	く		ぼ
勉	に	と	ん	だ	は		く
強	は	思	虫	か	、		の
し	い	い	は	ら	虫	木	夢
て	っ	ま	か	、	が	村	
、	し	す	せ	し	大	健	
ま	よ	。	に	よ	好	太	
ず	う	そ	な	う	き		

〔例2〕

っ	放	「	立	に	ぼ	と	で
て	課	よ	っ	こ	く	先	き
練	後	し	た	た	ら	生	る
習	に	、	。	え	は	は	ま
し	音	今		よ	そ	お	で
よ	楽	日		う	の	っ	が
う	室	か		と	は	し	ん
」	に	ら		ふ	げ	ゃ	ば
	集	毎		る	ま	っ	ろ
	ま	日、		い	し	た。	う。」

- ④ 文字は一ますに一字ずつ書きます。小さい「っ」「ゃ」「ゅ」「よ」も一ます使って書きます。
- ⑤ 句点（。）読点（、）カギ（「」）なども一ますに書きます。
- ⑥ 行の最初のますに句点や読点、閉じるカギ（）」が来るときは、前の行の最後のますに文字といっしょに書くか、前の行の最後のますの外に書きます。
- ⑦ 会話文は、行を変えてカギで囲みます。

1 次の文章を、原稿用紙の正しい使い方にしたがって、下の原稿用紙に書きましよう。

夏休みのある日、ぼくと小学一年生の弟は、母に連れられて近所のプールへ行った。とても暑い日だったので、プールはとてもこんでいた。母は、ぼくたちに準備運動をさせると、自分もしっかりと準備運動をし、先頭に立って水に入った。そして、少しはなれて立ち、「さあ、母さんの所まで泳いでおいで。」と、言った。




